

写真部ギャラリー 2

本土寺









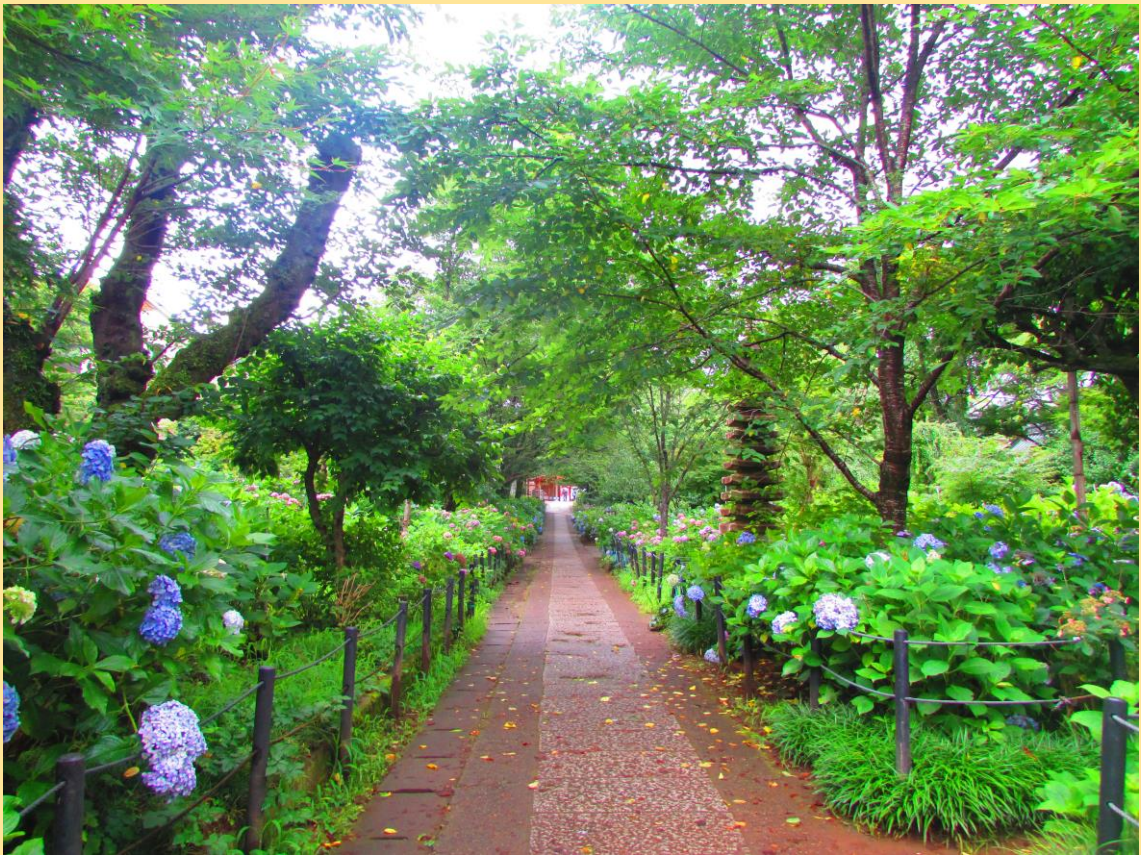


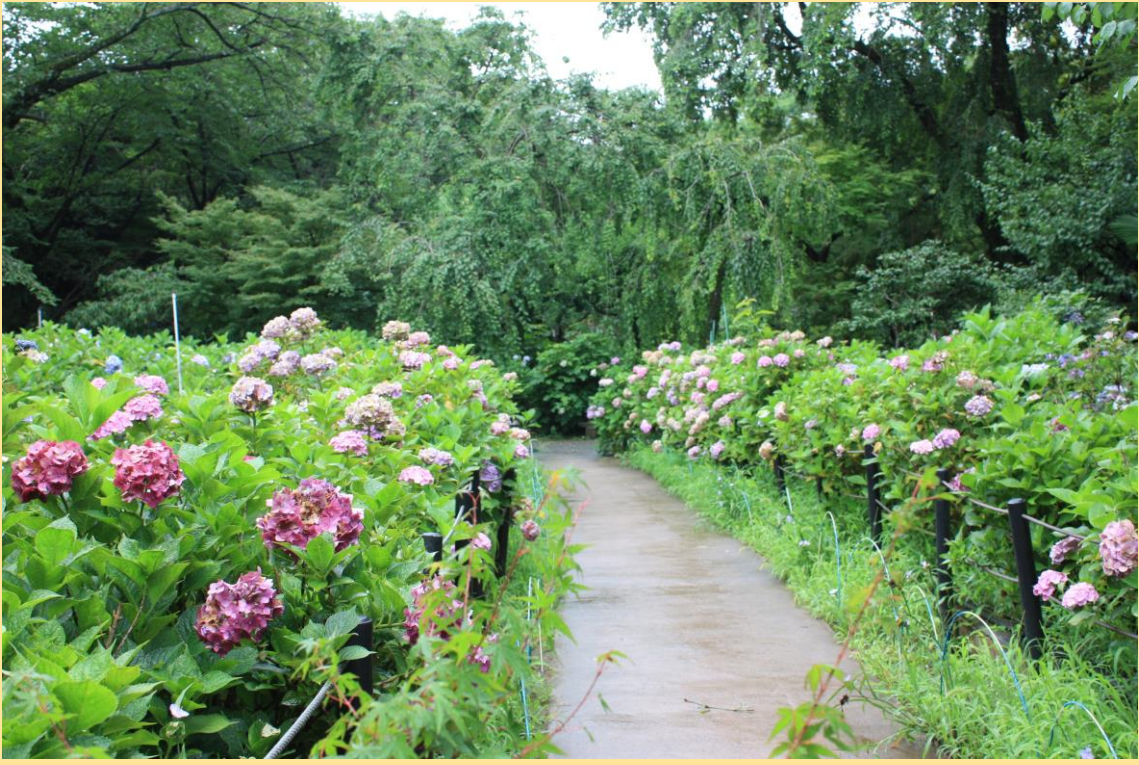






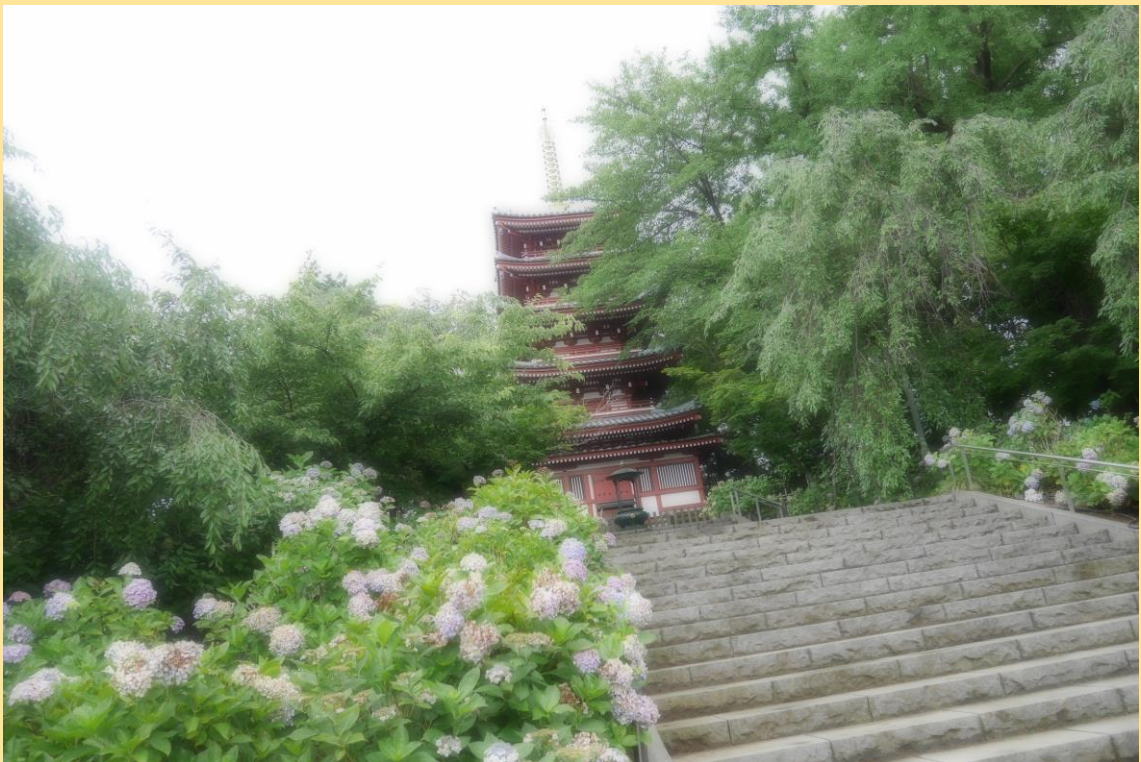
















翁(松尾芭蕉)の碑

この句碑は、江戸時代の文化元年(一八〇四)に建てられた芭蕉忌を期して建立されたものです。

正面には、この句碑を建立した今日庵元夢とその門人、

可長、探翠、一堂、幾来、一鄒

といった東葛地方の俳人達の名が見られます。

ここに名を連ねる一鄒とは、本土寺第三十九世日浄上人のことです。

本土寺では、しばしば「翁会」と称する句会が催され、小林一茶も参加しておりました。

碑面には芭蕉の「御命講や油のような酒五升」のほかに、芭蕉忌にちなんだ一茶の「芭蕉忌に先ずつつがなし菊の花」という句などもあります。

平成二十四年 松戸市教育委員会





